

微動アレー探査用いた 地下水開発が最優秀に

日さくが技術発表会

さく井工事などを手掛ける日さく(さいたま市大宮区、若林直樹社長)は、2022年度の第1回社内技術発表会を8月26日にオンラインで開いた。写真(日さく提供)。役員や技術職員、事務職員ら100人以上が聴講した。各事業所のさく井や地質調査、営業部門などに所属する9人の社員が技術発表をした。



技術発表会の全体テーマは「日々技術力向上を意識し、社会への貢献に努めよう!」。最優秀賞と優秀賞は、聴講者にアンケートを採って決定した。最優秀賞は「微動アレー探査を用いた地下水開発」、優秀賞に「浄水場内取水井及び配管の更新工事について」と「多様な方法による既設井戸内調査」を選んだ。

若林社長は総評で「日常業務の成果をアウトプットし技術力を磨くとともに、お客さまの困りごとを自分の困りごとのように対応

し、顧客から共感を得られるよう努めてほしい」と呼び掛けた。

